

# 立命館人間科学研究

## 第34号

---

### 目 次

#### ■原著論文

障害者が教員になることを阻む社会的障壁

—教員採用試験を点字受験した視覚障害教員の語りから—

中村 雅也 ( 1 )

家庭奉仕員制度の歴史における「間隙」

—1970年代における社会的位相に着目して—

佐草 智久 (19)

「学校社会事業（スクールソーシャルワーク）」「学校福祉」の実践に関する研究

—「非行・問題行動」に対する実践の歴史に着目して—

中西 真 (35)

裁判員裁判における評議パターンの提案

—質的・量的分析の統合から—

小坂祐貴・山崎優子・石崎千景・中田友貴・若林宏輔・サトウタツヤ (49)

#### ■実践と論考

トランスレーショナル対人支援研究

—より能動的・体系的な学・実連携研究に向けて—

松田 亮三 (69)

#### ■講演録

アメリカにおける冤罪原因とイノセンス運動の意義

Causes of Wrongful Convictions and the Significance of the Innocence Movement

Brandon L. Garrett

翻訳：笹倉 香奈 (77)

執筆者紹介

(91)

『立命館人間科学研究』について

(93)

---